

沖縄県平和祈念資料館だより

沖縄戦の教訓を語り継ぐ

～ボランティア養成講座の取り組み～

戦後60余年が過ぎ、沖縄戦の体験者も高齢となり、減少していく中、“沖縄戦の風化”が懸念されています。本館も本県の公的施設として、これらの課題に 대응べく、沖縄戦の歴史的教訓である“戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、文化をこよなく愛する沖縄の心”を全世界へ発信するため、体験者の証言を映像で記録する作業や、体験者が高齢であることに鑑み、「沖縄戦の歴史的教訓を正しく次の世代へ伝え、地域や学校などで平和学習支援活動の中核となる人材を育成する」ことを目的にボランティア養成講座などを実施してまいりました。

さて本講座について説明します。平成16年度スタート時の当初計画では年間20名、3年間で60名を養成する予定でしたが、定員を大幅に上まわる応募から急遽毎年30名に増員されました。

今年度も3年継続事業の最後として毎週土曜日の午後実施し、7月の開講式より約6ヶ月、16回、延べ60時間もの長期にわたる講座を実施しました。これまで同様、マスコミ等を通して公募し、厳正な審査をへて選抜された方々に受講していただきました。今回も20歳代から70歳代と幅広く、遠くは名護市やうるま市から当館（糸満市摩文仁）へ通い、またその経歴も様々で多彩なメンバーでの構成となりました。

講座内容はバランス感覚を備えた人材養成の観点

から、「沖縄戦」の学習を中心に、沖縄の歴史、文化、経済、精神世界等色々な切り口で、机上だけではなくバスによる戦跡巡検等、県内を代表するその分野の第一人者を講師にお迎えし、「沖縄」を多角的・網羅的に学習しました。類似するどの講座よりも幅広く、そして深く学習できたものと感じています。多忙な中、講師をご快諾いただいた諸先生方には大変感謝しています。紙面をかりて御礼申し上げます。

また、講座の修了認定要件としてレポートを全員に課しました。受講生本人または身内の戦争体験や戦後の体験等、あるいは戦争と平和に関する考察など、各自が真摯に課題に取り組んだ成果が収録され、レポートからはそれぞれの人となりが見えてきます。

最後に、当講座の修了者全員で組織する沖縄県平和祈念資料館「友の会」は、平和を愛する「沖縄のこころ」を発信する語り部としての役割が期待されています。要請があれば学校や地域等での「平和講話」や「戦跡または基地ガイド」等に応えられるように準備しています。この小冊子をお読みになった皆様方並びに皆様方によってご紹介していただいた方々が、これらの人材を存分に活用していただくことをお願い申し上げ、本事業を終了するにあたってのご挨拶といたします。

沖縄県平和祈念資料館 館長 川満 茂雄



第3回人権ラブソングコンテスト審査委員特別賞 TEADA

第7回

特別企画展の開催報告

第7回特別企画展は「沖縄戦における住民動員―戦時下の根こそぎ動員と失われた明日―」をテーマに、当資料館では平成18年10月10日(火)～12月17日(日)、八重山平和祈念館におきましては、平成19年1月16日(火)～2月25日(日)までの期間開催しました。

戦後61年が経過し、激しい地上戦を生き抜いてこられた戦争体験者が高齢化していくなか、戦争の記憶を遠い過去の出来事にしないため、今一度歴史の教訓から学び、未来志向の平和を考える機会として、沖縄戦における住民動員の状況を調査し、本企画展を開催しました。

アジア・太平洋戦争の戦闘の中における沖縄戦の際立った特徴は、住民を巻き込んだ国内戦としては最大の地上戦であるということと本来ならば非戦闘員であるべき老幼婦女子までが、軍と共に参戦させられたことにあります。そのことが多くの住民犠牲を生む結果をもたらしております。また、沖縄戦は、米軍の表現を借りれば、「ありったけの地獄を集めた」ものとなっており、米軍にとっても、いかに激しい戦闘であり、長期に及ぶ苦しい戦いを強いられるものとなっていたことがわかります。

本企画展では、沖縄戦当時飛行場建設等で使用されたと思われる読谷村の歴史民俗資料館所蔵の石車、宜野湾市立博物館所蔵の軽便鉄道のレール、沖縄県立第一中学校養秀同窓会館所蔵の遺品等、県内の外部機関等からの資料も数多く展示され、観覧者の関心を集めました。また、戦前の2万5千分の一の本島中南部の地形図の活用や

東京の「しょうけい館」所蔵の沖縄戦証言ビデオも紹介し、観覧者の興味・関心を喚起する工夫をしました。

本企画展の開催を契機に、戦後はじめての「旧制中学校学徒隊連絡協議会」も本館の大会議場において発足しました。

■展示内容

- 1 導入の部……写真パネル・実物展示・地図（展示壁面、展示ケースの活用）
 - ① 全国の住民動員
 - ② 沖縄戦における住民動員の概要
- 2 展開の部……写真パネル・実物展示・地図（展示壁面、展示ケースの活用）
 - ① 中部戦線及び南部撤退と喜屋武半島
 - ② 北部戦線及びその他の地域
- 3 結びの部……写真パネル・実物展示（展示壁面、展示ケースの活用）
 - ① 解散と戦死者
 - ② 戦後の事業等
- 4 特別コーナーの部……映像ビデオ等の活用
 - ① 平成19年度特別企画展「沖縄戦の戦争遺跡」の告知と資料提供を呼びかける。



ボランティア養成講座を受講して

第3期生 新垣 誠

私たちボランティア養成講座第3期生二十九名は、約半年間十六の講座を受講してきました。

思い起こせば、半年前、チムフサワサーして開校式に臨み、講座を無事に修了できるのか、講座の内容を理解することができるのかなど一抹の不安もありました。担当の福永さんの支えや、同じ会員の皆さんからあたたかい言葉や協力をいただき、毎回の講座が楽しみの一つになってきたことを思い出します。

特に心に残った講座は、丸一日をかけて、実際に沖縄戦の戦跡を巡ったフィールドワークでした。今では、1フィート運動などで沖縄戦の映像を見ることも出来ますが、実際に戦跡を回ることで、当時の沖縄戦の実相を内面で感じる事が出来ました。そして、先人達の努力のお陰で今の平和な世の中が築き作り上げられてきたことに自然に感謝の念をもつことが出来ました。

また、ボランティア養成講座で多くの会員の皆さんと知り合いになれたことも大きな成果の一つでした。年齢構成や職歴など多種多様でしたが、私にはない、一人一人の平和学習に対する信念や想い、経験など、多くのことを学ぶことが出来ました。

このように、講座を通して人とのかわりから、自分は平和ガイドになって何を伝えていきたいのか、自

己を見つめ、自分の平和に対する意識を確立する良い契機となりました。

まだまだガイドとして独り立ちするには未熟者ですが、今はただ一日も早く一人前の平和ガイドになれることを目標にしています。もちろん、並大抵の努力では足りませんが、一日、一日を大切に成長していきたいと思えます。

そのためにも、常に学び続け、広い見地や思考を養うことが私たちには求められています。そして、平和祈念資料館のボランティア養成講座で学んだことをなんらかの形で社会に貢献していきたいと思えます。

了養成講座閉講式

主催 沖縄県平和祈念資料館



第3回『人権ラブソングコンテスト』報告

音楽に愛のメッセージをのせて届ける人権ラブソング。
身近な人に愛を捧げよう。それが人権ラブソングになるのだ。

日時 2006年12月10日（日） 入場無料
午後 1時から午後 4時30分
会場 沖縄県平和祈念資料館 平和祈念ホール
主催 沖縄県平和祈念資料館
後援 沖縄県人権啓発活動ネットワーク協議会
出場 10組
観客数 180人



第3回 人権ラブソングコンテスト受賞作

- グランプリ みんなすてき 安里桂子
- 準グランプリ つながる いのち 下地なを美 照屋岳史
- 準グランプリ いつか夢がかなうまで はいさいん
- 審査委員特別賞 十年後の未来に TEADA
- 優秀賞 STEREO EDGE、NYA☆☆、電波ボーイズ、シン、
 KING CLASSIC SOUND、上海愛人

コンテストエントリー 35組



人権ラブソングコンテスト
携帯サイトへのアクセス QR コード



グランプリ 安里桂子



準グランプリ 下地なを美 照屋岳史



準グランプリ はいさいん



審査委員特別賞 TEADA

※お知らせ…・沖縄県平和祈念資料館HPで、各受賞曲のダウンロードができます。
・入賞曲CDは全県の小・中・高校に送付され、人権教育に活用されます。

平成19年度

第17回

児童・生徒の 平和メッセージ [図画・作文・詩] 作品募集要項

1 募集対象

沖縄県内の小・中学校及び高等学校、特殊教育諸学校の児童・生徒

2 応募方法

<各部門共通>

- 作品はすべて所属の学校を通して応募する。
- 図画・作文・詩ともに未発表作品で、各分野につき一人一点までとする。
- 学校名、学年、氏名（フリガナ）、題名を必ず記入する。

<図画部門>

- 市販の画用紙（四つ切り、38cm×54cm）を使用する。
- 画材、表現方法等は自由であるが、立体作品は避ける。

<作文部門>

- 原稿用紙は、400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙を使用する。

○小学校低学年は原稿用紙2枚程度、中学年は3枚程度、高学年は4枚程度、中学生及び高校生は5枚程度とする。
必ず清書する。

<詩部門>

- 原稿用紙は、400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙を使用する。
- 枚数は特に指定しない。必ず清書する。

3 募集期間

平成19年5月1日（火）～5月25日（金）

※5月25日（金）までの必着とする。沖縄県平和祈念資料館への持ち込み可。

4 作品の送り先

〒901-0333 糸満市字摩文仁614番地の1

沖縄県平和祈念資料館（TEL. 098-997-3844 FAX. 098-997-3947）

※当資料館への作品の持ち込み可

平成19年度

第8回 特別企画展「沖縄戦の戦争遺跡展」について

今年、10月に開催する第8回特別企画展は「沖縄戦の戦争遺跡—鉄の暴風の爪痕」（案）を予定しております。

沖縄戦の体験者の減少と共に、沖縄戦の検証は、記憶から記録にその重心を移すことが求められております。また、戦後60余年の時の経過は、県下に散在する戦争遺跡の崩壊や風化をもたらしております。そのことは、悲惨な沖縄戦の実相を後世に伝える手段が限定されていくことに繋がり、今日の戦争遺跡の実態を調査・記録し、後世に残す作業をする必要があります。このような状況の中で、本企画展では、沖縄戦にかかわる戦争遺跡やその出土品等の状況を調査し、展示します。

1. 期間・場所

平成19年10月10日（水）～12月16日（日） 沖縄県平和祈念資料館（企画展示室）

平成20年1月16日（水）～2月24日（日） 八重山平和祈念館（第2展示室）

2. 目的

- (1) 当館の収蔵資料だけでなく、県内の戦争遺跡関連の資料を広く公開することにより、沖縄戦への理解を深めてもらう。
- (2) 沖縄県立埋蔵文化財センター等と連携し、沖縄戦の戦争遺跡の状況を調査・展示することで「出土品」等の物が語る戦争の実相を理解してもらう。

3. 展示内容

(1) 展示資料

展示する資料は、戦争遺跡とその出土品や当館の収蔵品の他、県内外の戦争遺跡関連資料とする。

(2) 展示構成

- ◎ 導入の部……写真パネル・実物展示・地図（展示壁面、展示ケースの活用）
 - ① アジア・太平洋の戦場
 - ② 全国のアジア・太平洋戦争の遺跡
 - ③ 沖縄戦の戦争遺跡の概要
- ◎ 展開の部……写真パネル・実物展示・地図（展示壁面、展示ケースの活用）
 - ① 中部戦線における戦争遺跡
 - ② 南部撤退と喜屋武半島における戦争遺跡
 - ③ 北部戦線及びその他の地域における戦争遺跡
- ◎ 結びの部……写真パネル・実物展示（展示壁面、展示ケースの活用）
 - ① 沖縄戦における戦争遺跡の分布と特徴
 - ② 沖縄戦における戦争遺跡の今後の課題

【八重山平和祈念館】

平成18年度 事業実施報告

終戦記念日特別企画 「戦争体験談と戦時中の食事再現」

●日時：平成18年8月12日（土）

8月15日の終戦記念日に併せ、戦争体験談や戦時中の食事を体験してもらうことで改めて平和の尊さや戦争の悲惨さについて考えてもらおうと「戦争体験談と戦時中の食事再現」を開催しました。

戦争体験談では八重山戦争マラリア遺族会の渡久山トミさんが強制避難をさせられた白水での苦しかった生活の様子や、マラリアのため娘を失った体験などを話して下さいました。

この中で、「戦争はとても怖い。あの恐ろしさと苦しみ、悲しさは体験者しかわからない。二度と戦争のない平和な世の中になってほしい」と涙ながらに語って下さいました。

このあと、平和への願いを込めて、石垣第二中学校郷土芸能部のメンバーが舞踊を披露して下さいました。



連絡先 住所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町79番地の3 TEL/FAX：0980-88-6161
E-MAIL：yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp

第7回特別企画展 沖縄戦における住民動員

—戦時下の根こそぎ動員と失われた明日— 報告

●期間：平成19年1月16日（火）～2月25日（日）

前年10月に県平和祈念資料館で開催された特別企画展の中から、八重山における住民動員に関する資料を中心に特別企画展を開催しました。

開会式当日は、資料を提供いただいた戦争体験者（浦崎賢市さん、伊是名米さん、宮喜清さん）にご出席をいただき、資料の説明や当時の状況、平和の大切さ等のお話をお聞きすることができました。会場には地元の海星小学校や八重山高等学校の児童・生徒をはじめ多くの来館者が訪れ、貴重な資料や体験談を熱心に見聞きする姿が見られました。また、開催期間中は1,000名を超える多くの方の御来場をいただき、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える機会にさせていただきました。



平成18年度 企画展示室等の利用

当資料館の1階には広さ226㎡の企画展示室があり、展示ケースや展示パネルを備えており、写真展や絵画展などにご利用できます。平成18年度に当資料館を使用した企画展を紹介します。



第36回世界児童画展（場所：企画展示室）
（平成19年2月7日～28日）



県立芸大開学20周年記念
「平和祈念公園芸術祭」（場所：2階ギャラリー）
（平成18年10月1日～31日）

— 御利用ありがとうございました —

沖縄県平和祈念資料館友の会

○ 沖縄戦の歴史的教訓を次の世代へ正しく継承するために、次のような活動をしている。

1. 学校及び地域における平和学習活動の支援
2. 沖縄県平和祈念資料館における平和学習活動の支援（講話、読み聞かせ等）
3. 平和祈念公園内及び地域の戦跡（ガマ等）のポイントガイド

○ 平成18年度活動状況

平和講話・ガイド

場 所	回 数	人 数	備 考
資料館会議室	16	1,520	県外中学校2 高校10 その他4
資料館ホール	12	2,140	県外中学校4 高校8
学校	15	8,018	県内小学校12 中学校1 高校2
平和祈念堂	3	367	県外高校3
その他	5	540	県外大学1 高校2 少年の翼 高知新聞
小計（講話）	51	12,634	
ポイントガイド	1	8	県内教職研修会
合 計	52	12,642	※県内学校15校

○ 申し込み先

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会（沖縄県平和祈念資料館内）

所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614番地の1

T E L；098-997-3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

F A X；098-997-3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

平成19年度 沖縄県平和祈念資料館年間行事予定

5月	5日	子どもの日（児童は入館料無料） 親子ビデオ上映会
6月	19日～7月17日	子ども・プロセス企画展（1）「子どもたちと沖縄戦」
	23日	慰霊の日（入館料無料、沖縄戦関連ビデオ上映、平和人権コンサート）
	23日～8月17日	児童・生徒の平和メッセージ展
7月	21日～8月31日	夏休み平和学習会
8月	6日～9月16日	子ども・プロセス企画展（2）「国際理解を深めよう」
10月	10日～12月16日	特別企画展「沖縄戦の戦争遺跡—鉄の暴風の爪痕—」（仮題）
11月	上旬	「沖縄戦」講座 ①
	19日～12月23日	子ども・プロセス企画展（3）「人権について考えよう」
12月	9日	人権ラブソングコンテスト
1月	上旬	「沖縄戦」講座 ②
	15日～2月24日	子ども・プロセス企画展（4）「平和について考えよう」
2月	13日	沖縄県平和祈念資料館講習会

18年度 寄贈品紹介

沖縄県平和祈念資料館では戦争を知らない多くの戦後世代へ、悲惨な戦争の教訓を語りついでいくために、戦争関係の資料、戦時中・終戦直後の生活を語る資料等の提供を呼びかけています。平成18年度に寄贈された人は17人で点数はのべ68点です。御寄贈ありがとうございました。寄贈された資料の一部を紹介します。これらの資料は、今後、特別企画展や寄贈・寄託品展などで紹介していきたいと考えています。

これからも、戦前、戦中、戦後の資料の寄贈を当資料館では、お待ちしております。



防空頭巾
登川 笑子氏 寄贈



ガス治療薬（鼻用）
葉村 かおり氏 寄贈



卒業證書
新垣 道子氏 寄贈

■平成18年度 寄贈者一覧

	資料名	数量	提供方法	寄贈者		資料名	数量	提供方法	寄贈者
1	防空頭巾	1	寄贈	登川 笑子	15	戦没者進級通知書	1	寄贈	崎山 健一郎
2	勲章	2	寄贈	名嘉真 輝義	16	死亡時交付金(袋のみ)	1	寄贈	崎山 健一郎
3	写真等(複写)	9	寄贈	Marco PICONE CHiodo	17	死亡告知書	1	寄贈	崎山 健一郎
4	写真(複写)	14	寄贈	稲福 盛喜	18	写真(複写)	1	寄贈	我部 政男
5	写真	1	寄贈	嘉数 照栄	19	卒業證書	1	寄贈	新垣 道子
6	リスト バンド	1	寄贈	BRIAN LOY	20	業務努力賞	1	寄贈	新垣 道子
7	『沖縄戦 嘉数高地から 糸数壕へ』	1	寄贈	日比野 勝廣	21	賞状	1	寄贈	新垣 道子
8	文書(複写)	2	寄贈	知念 成吉	22	表彰状(複写)	3	寄贈	松本 好郎
9	写真(複写)	3	寄贈	真玉橋 加代子	23	トロッコの線路	1	寄贈	新崎 盛俊
10	手榴弾の破片	1	寄贈	村上 クミ	24	葉 莢	1	寄贈	名嘉真 輝義
11	写真	1	寄贈	村上 クミ	25	軍服(上着)	3	寄贈	平良 充弘
12	ガス治療薬(鼻用)	1	寄贈	葉村 かおり	26	軍服(ズボン)	1	寄贈	平良 充弘
13	印鑑	1	寄贈	葉村 かおり	27	入営幟	2	寄贈	平良 充弘
14	軍事郵便はがき・手紙	11	寄贈	崎山 健一郎	28	指揮刀	1	寄贈	平良 充弘

—— 貴重な資料を御寄贈ありがとうございました ——

VIPご紹介

今年度もおかげさまで、県内外を中心に多くの皆様が当資料館を訪れ、平成19年2月末までに約42万人のお客様が訪れました。こちらでは、今年度訪れたVIPの方々をご紹介します。



1 グアム議会一行

(H18・7・13来館)



2 チュー・トゥアン・カップ
ベトナム駐日特命全権大使

(H18・8・18来館)



3 ハジ・アディ
マレーシア国立博物館館長

(H18・12・1来館)

平成18年度 人権ラブソングコンテスト グランプリ受賞

「みんなすてき」

作詞・作曲：安里桂子

他の誰かのことばかり すごくらやましく思えてみたり
そんな自分に自信がなくて いつもどうにかごまかしてたり

泣き出たくて逃げ出たくて 他の誰にも会いたくなくて
素直な気持ち やさしい言葉 笑うこと忘れてないかな?

心は空と同じように 晴れてる目はかりじゃないけど

でもね 君も 僕も あなたも 私も

みんなすてき だから胸張って 笑顔で歩いて行こう
みんなすてき だから手をつないで 明日を照らすんだ

目の前にある果てしない道 その先は遠くて見えなくて
思い出の日々よみがえるたび 立ち止まったり振り返ったり

勇気を与えるあたたかい声 見上げた夜空流れてく星
すぐそばにあるうれしいことを 毎日たくさん見つけよう

いつか見た夢があるのなら 強く抱いて進めばいい

そうだよ 君も 僕も あなたも 私も

みんなすてき だから胸張って 笑顔で歩いて行こう
みんなすてき だから手をつないで 明日を照らすんだ

みんなすてき ラララララララ...

みんなすてき ラララララララ...

資料のご提供について

戦後62年が経ち、戦争を知らない多くの戦後世代へ、悲惨な戦争の教訓を語り継いでいくためには、戦前、戦時中、終戦後の資料等がますます重要な役割を果たしていくことになります。

このような資料をお持ちの方、貴重な思い出の品々かとは存じますが、ご提供をたまり、今後に活用させていただきたいと思います。

ビデオの貸出について

当資料館では、「沖縄戦体験者証言ビデオ」全26巻の貸出しと資料館制作の沖縄戦ビデオ「そしてぼくらは生き残った」のビデオの貸出しを行なっています。

どうぞ、事前学習等でご活用ください。

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所：〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1 TEL：098-997-3844 FAX：098-997-3947

URL：www.peace-museum.pref.okinawa.jp E-MAIL：webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp